ファンド情報提供資料
（データ基準日：2026年4月末）

三菱UFJ DCバランス・イノベーション（KAKUSHIN）のご紹介

追加型投信／内外／資産複合

■設定・運用は

MUFG
三菱UFJアセットマネジメント

三菱UFJアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第404号
加入協会：一般社団法人資産運用業協会

当ファンドは、次のような加入者様の声にお応えするファンドです

- □ 投資経験が少なく、投資環境や資産の変動について詳しくわからない。
- □ ふだんは忙しくて資産配分の変更について考える時間がない。
- □ 複数の資産に分散投資したいとは思うが、自分で配分を決めるのは難しい。
- □ 運用にあたっては、投資環境に応じてきめ細やかに資産配分の調整をしてほしい。

本資料は「三菱UFJ DCバランス・イノベーション（KAKUSHIN）」の概略を記載したものです。このため、ファンドの商品性、リスク、お申込みメモ等については確定拠出年金向け説明資料または投資信託説明書（交付目論見書）をご確認いただく必要があります。【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

目次

1.当ファンドのコンセプト

2.ファンドの目的・特色

3.運用状況

【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

1.当ファンドのコンセプト

- マザーファンドへの投資を通じて、国内株式、先進国株式、国内債券、先進国債券（為替ヘッジ）および短期金融資産に実質的な投資を行います。
- 投資環境に応じて、機動的に各資産の投資比率をコントロールします。
- 中長期でリスクを抑え、安定的な収益確保をめざします。
- 国内外の債券市場が下落した場合等に債券の組入比率を引き下げ、短期金融資産等への投資を行う場合があります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

2.ファンドの目的・特色

ファンドの目的

日本を含む世界各国の株式、公社債および短期金融資産を実質的な主要投資対象とし、値上がり益の獲得および利子・配当等収益の確保をめざします。

ファンドの投資対象

ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、国内および先進国の株式、債券および短期金融資産に実質的な投資を行います。

- 国内、先進国の株式・債券および短期公社債等に投資するファンドです。
- 国内株式、先進国株式の組入比率を抑えて、比較的安定的な基準価額の上昇をめざすファンドです。

<ファンドが投資対象とするマザーファンドと運用目標>

各マザーファンド	主要投資対象	運用目標
TOPIXマザーファンド	国内株式	東証株価指数(TOPIX)(配当込み)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
外国株式インデックスマザーファンド	先進国株式(国内株式を除く)	MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円換算ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
国内債券インデックスマザーファンド	国内債券	NOMURA−BPI総合に連動する投資成果をめざして運用を行います。
ヘッジ付外国債券インデックスマザーファンド	先進国債券(国内債券を除く)	FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)と連動する投資成果をめざして運用を行います。
マネー・マーケット・マザーファンド※	国内の短期公社債等	安定した収益の確保をめざして安定運用を行います。
新マネー・マーケット・マザーファンド	国内の短期公社債等	主として安定した利子収益の確保をめざして運用を行います。

※2026年6月25日に投資対象から削除する予定です。

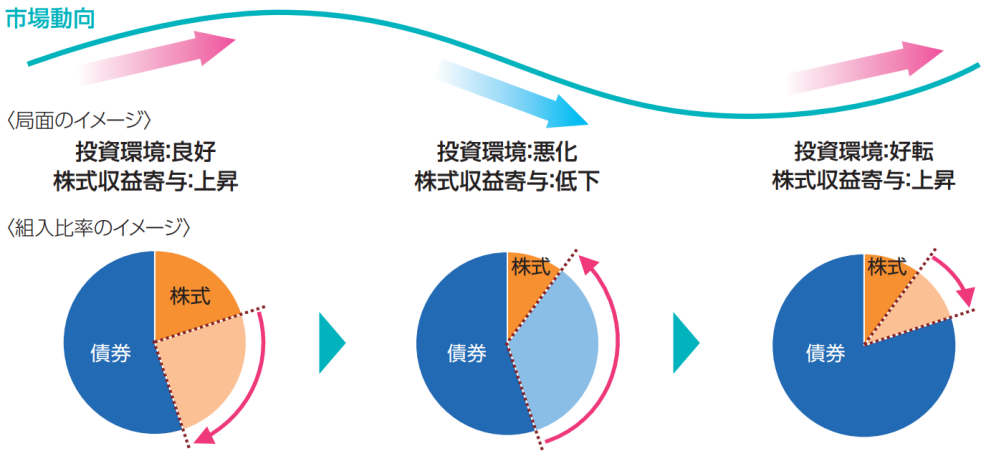
市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

2.ファンドの目的・特色

運用方法

投資環境の変化等に応じて機動的に各資産の組入比率を変更します。
各資産の組入比率は以下の範囲で決定します。

＜（ご参考）組入比率変更のイメージ＞



・上図はファンドの組入比率の変更をご理解いただくために、組入比率の変更をイメージとして示したものです。また、各投資環境における組入比率については実際の比率と異なり、投資環境等によっては、株式の組入れを行わない場合があります。

＜各資産の組入比率＞

国内株式	0.0%～22.0%
先進国株式	0.0%～22.0%
国内債券	0.0%～51.0%
先進国債券	0.0%～25.0% （原則、25.0%固定とします。）

・上記以外に短期金融資産を組み入れます。
・上記組入比率は、今後、変更となる場合があります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

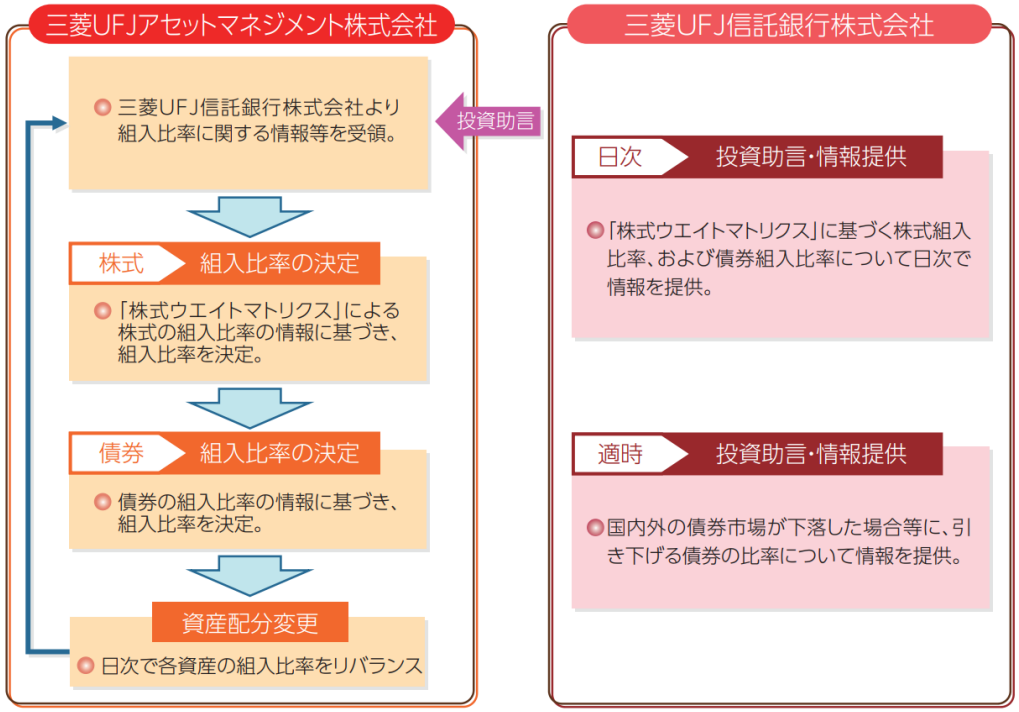
2.ファンドの目的・特色

運用プロセス

年金運用に実績のある三菱UFJ信託銀行株式会社の投資助言・情報提供に基づき、三菱UFJアセットマネジメント株式会社がファンドの運用を行います。
ファンドのベースとなっている「下方リスク抑制バランス」は、内外株式下落による損失回避と中期的な収益確保をめざし、機動的に投資比率をコントロールする運用商品で、三菱UFJ信託銀行株式会社が三菱UFJトラスト投資工学研究所（MTEC）のサポートを受け、独自に開発したモデルに基づく運用手法で年金顧客向けに提供されています。

・投資助言者、投資助言の内容、投資助言の有無等については、変更する場合があります。

＜ファンドの運用プロセス＞



・上記の運用プロセスは変更される場合があります。また、市場環境等によっては上記のような運用を行わない場合があります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

2.ファンドの目的・特色

株式組入比率の決定

株式の組入比率については、投資環境や株式部分の収益寄与に基づいて決定する「株式ウエイトマトリクス」を活用します。

◆「投資環境」は、株式市場や景気の方向性、信用リスクに対する市場の反応の大きさ、株式市場の値動きの大きさ等を測る複数の指標を用いて計算される「相場局面判断インデックス」をもとに判断します。

◆「株式部分の収益寄与」は、過去の株式の収益率に組入比率を勘案して算出します。

・「株式ウエイトマトリクス」は、各資産（国内株式、先進国株式）ごとに異なります。また、「投資環境」を判断する各指標については、今後変更になる場合があります。

＜株式ウエイトマトリクスのイメージ＞

・上記の株式ウエイトマトリクスはイメージであり、実際の運用に用いるものとは異なる場合があります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

2.ファンドの目的・特色

債券組入比率の決定

株式部分以外への投資については、先進国債券に一定の比率で投資を行い、残りは国内債券等に投資します。
国内外の債券市場が下落した場合等に債券の組入比率を引き下げ、新マネー・マーケット・ マザーファンド等への投資を行う場合があります。

国内株式	0.0%～22.0%
先進国株式	0.0%～22.0%
国内債券	0.0%～51.0%
先進国債券	0.0%～25.0% （原則、25.0%固定とします。）

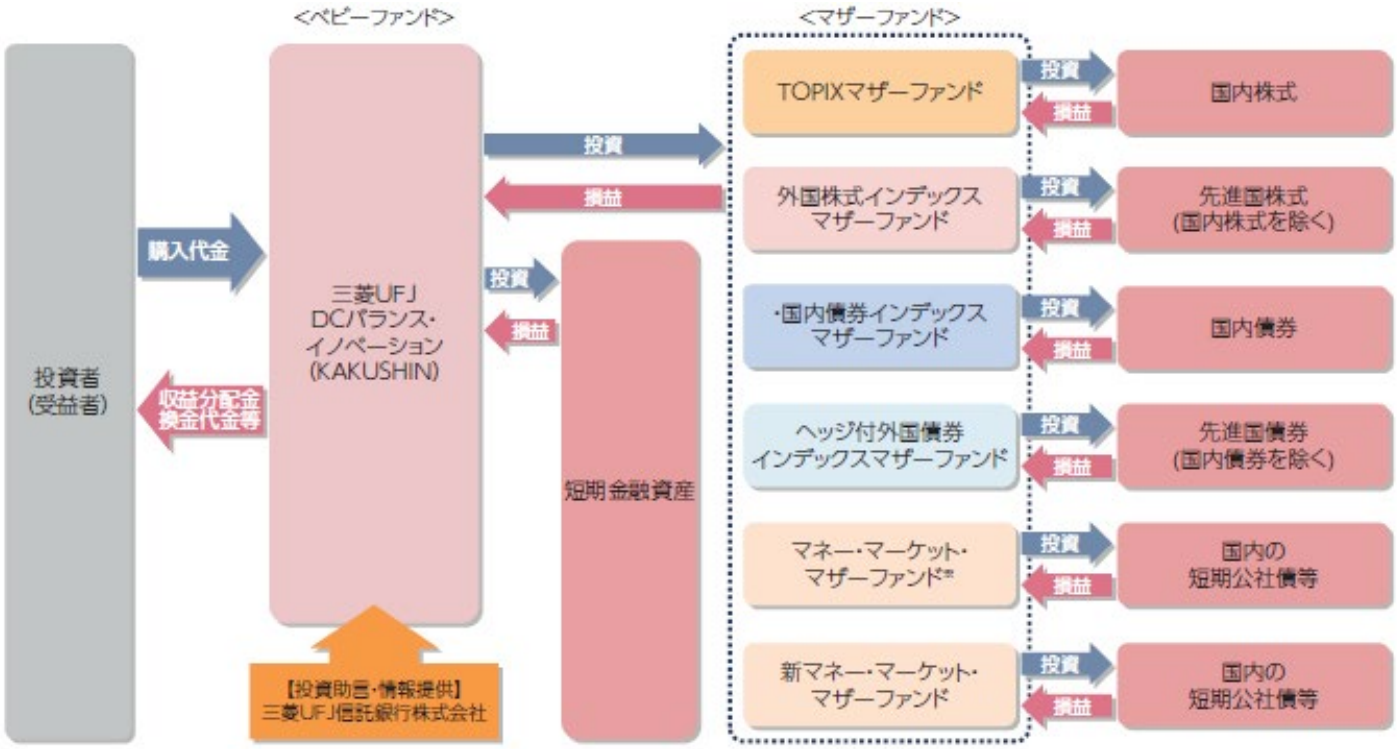
・上記以外に短期金融資産を組み入れます。
・上記組入比率は、今後、変更となる場合があります。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

2.ファンドの目的・特色

ファンドの仕組み

運用は主に各マザーファンド等への投資を通じて、日本を含む世界各国の株式、公社債および国内の短期金融資産へ実質的に投資するファミリーファンド方式により行います。



※2026年6月25日に投資対象から削除する予定です。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

2.ファンドの目的・特色

為替対応方針

実質組入外貨建資産のうち債券部分については、原則として為替変動リスクの低減をめざして為替ヘッジを行います。その他の実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

●実質組入外貨建資産のうち債券部分については、原則として為替変動リスクの低減をめざして為替ヘッジを行いますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

●その他の実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、ファンドは為替相場の変動による影響を受けます。

・為替ヘッジを行うにあたっては、対象通貨間の金利差に基づくヘッジコストがかかります。ただし、為替市場の状況によっては、金利差相当分以上のヘッジコストとなる場合があります。

分配方針

年1回の決算時（3月25日（休業日の場合は翌営業日））に分配金額を決定します。
分配金額は委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。

分配金額の決定にあたっては、信託財産の成長を優先し、原則として分配を抑制する方針とします。 （基準価額水準や市況動向等により変更する場合があります。）

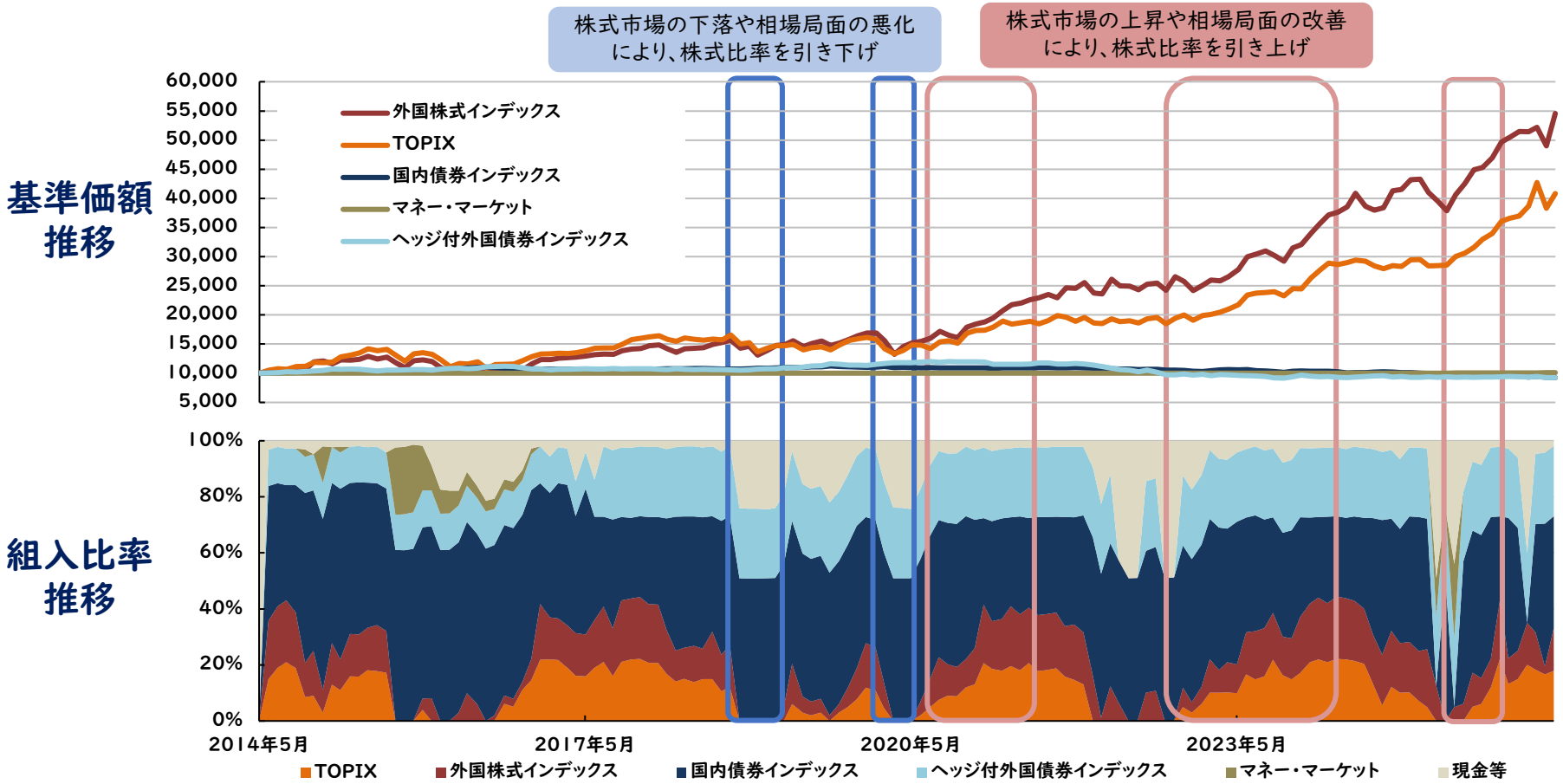
将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

3.運用状況

各マザーファンド基準価額推移と組入比率推移（対純資産総額）

（2014年5月末～2026年4月末）



※マネー・マーケットにはマネー・マーケット・マザーファンドと新マネー・マーケット・マザーファンドの組入分も含みます。

・基準価額推移のグラフは三菱UFJ DCバランス・イノベーション(KAKUSHIN)の設定日(2014年5月30日)を10,000として指数化しています。・2020年12月以降、上記マザーに入替えております。・2025年12月25日以降、新マネー・マーケット・マザーファンドとマネー・マーケット・マザーファンドに投資可能となり、2026年6月25日以降は新マネー・マーケット・マザーファンドへの投資に一本化します。

上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。
【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

3.運用状況

基準価額・純資産総額

基準価額	11,708円
純資産総額	298.58億円

資産構成比率

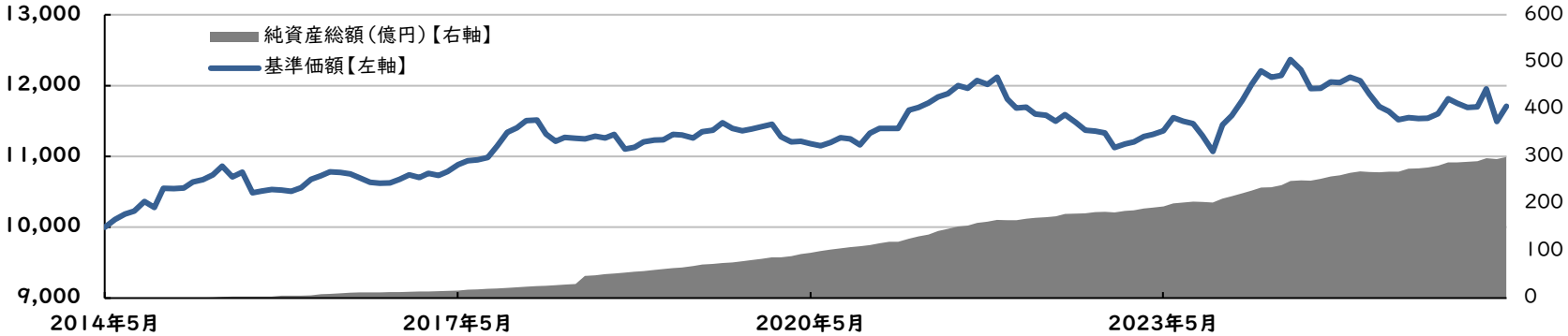
（2026年4月末時点）

	当月	前月	比較
国内株式	17.91%	16.57%	1.35%
国内債券	39.93%	50.89%	-10.96%
外国株式	15.17%	2.93%	12.24%
外国債券（ヘッジ付）	25.14%	25.54%	-0.40%
短期公社債	0.00%	0.00%	0.00%
短期金融資産	1.85%	4.07%	-2.22%
合計	100.00%	100.00%	

・ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率（純資産総額比）。
（注）投資信託証券（REITを含む）の組み入れがある場合、株式に含めて表示しています。

基準価額等の推移

（期間：2014年5月末～2026年4月末）



・基準価額は設定日（2014年5月30日）を10,000として指数化しています。

ファンド（分配金再投資）の収益率とリスク（標準偏差）

	3ヵ月間	6ヵ月間	1年間	3年間	5年間	10年間	設定来
ファンド収益率	0.09%	-0.89%	0.61%	1.16%	0.03%	0.83%	1.33%
ファンドリスク	－	－	5.59%	5.12%	4.42%	3.60%	3.59%

・ファンド（分配金再投資）の収益率とは、当ファンドの決算時に収益の分配金があった場合に、その分配金で当ファンドを購入（再投資）した場合の収益率です。
・収益率・リスクともに月次収益率より算出。なお設定日が月中の場合、設定日が属する月の月次収益率は含んでいません。（設定来は設定月末を起点として算出）
・収益率は期間が1年以上の場合は年率、期間が1年未満のものについては年率換算しておりません。計測期間が異なる場合は、結果も異なる点にご注意ください。

基準価額は、1万口当たりで運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。信託報酬率は、後記の「ファンドの費用」に記載しています。表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。
上記は、過去の実績・状況または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮しておりません。【本資料に関するご注意事項等】の内容を必ずご覧ください。

ファンドのリスク・費用

【投資リスクについて】

基準価額の変動要因：基準価額は、株式市場の相場変動による組入株式の価格変動や、金利変動による組入公社債の価格変動、為替相場の変動等により上下します。また、組入有価証券等の発行者等の経営•財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の影響を受けます。これらの運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。主な変動要因は、価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスクです。上記は主なリスクであり、これらに限定されるものではありません。くわしくは、確定拠出年金向け説明資料または投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

【費用について】

■お客さまが直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	ありません。
換金時	信託財産留保額	ありません。

■お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

保有期間中	運用管理費用 （信託報酬）	日々の純資産総額に対して、年率0.66% (税抜 年率0.6%)をかけた額
	その他の費用・ 手数料	以下の費用・手数料についてもファンドが負担します。 ・監査法人に支払われるファンドの監査費用 ・有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料 ・有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 ・外国株式インデックスマザーファンドの換金に伴う信託財産留保額 ・その他信託事務の処理にかかる諸費用　等 ※上記の費用・手数料については、売買条件等により異なるため、あらかじめ金額または上限額等を記載することはできません。

※運用管理費用（信託報酬）および監査費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。毎計算期間の6ヵ月終了時、毎決算時または償還時にファンドから支払われます。
※ファンドの費用（手数料等）については、保有金額または保有期間等により異なるため、あらかじめ合計額等を記載することはできません。なお、ファンドが負担する費用（手数料等）の支払い実績は、交付運用報告書に開示されていますのでご参照ください。

本資料に関するご注意事項等

【本資料で使用している指数について】

■東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

■MSCIコクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

■NOMURA−BPI総合とは、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

■FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ヘッジ・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

【本資料に関してご留意いただきたい事項】

■本資料は三菱UFJアセットマネジメントが作成した情報提供資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。投資信託をご購入の場合は、運営管理機関よりお渡しする確定拠出年金向け説明資料または投資信託説明書（交付目論見書）をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■本資料は特定の商品への投資について指図を行うこと、または指図を行わないことを勧めるものではありません。

■掲載されている各コンテンツは、運用方法に係る情報の提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘する目的で作成したものではありません。

■本資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

■本資料は信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性等を保証するものではありません。

■投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の補償の対象ではありません。

■確定拠出年金で投資信託をご購入の場合は、運営管理機関がお申込みの取扱いを行い、委託会社が運用を行います。

MUFG

三菱UFJアセットマネジメント